

## フィリピン初の 地下鉄事業着工

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルは2月28  
日、フィリピン初の地下鉄  
プロジェクト「マニラ首都

圏地下鉄事業（フェーズ  
1）」が着工したと発表した。同27日に現地で行われた起工式には関係者が出席、工事の無事完成を祈った。

着工したのは、首都・マニラの北部に位置するケソン市と南部のパラニャケ市（延長約25<sup>キロ</sup>、15駅）を結ぶ地下鉄プロジェクト。国際協力機構（JICA）が行った事前評価によると、総事業費は約7935億円。うち円借款の対象額は約5737億円で、STEP（本邦技術活用条件）を適用する。同社やパシフィックコンサルタンツら6社<sup>J</sup>が約260億円でCM（コンストラクションマネジメント）業務を受注。入札支援や施工管理を担う。先行整備する3駅と車両基地を2022年までに、残る12駅を25年までに完成させる。マニラで発生する慢性的な交通渋滞の解消と輸送力が強化される。